

ホームページへの掲載		
済	7月1日	掲載予定

岐阜県立揖斐高等学校

学 校 長 鈴木 英司
学 校 住 所 揖斐郡揖斐川町三輪1852番地 電話 0585-22-1261

1 会議の名称 学校評議員による会 (第1回)

2 会議の構成 委 員 錦野 悦朗 揖斐高同窓会長
杉山 洋子 揖斐川町社会教育委員
田中 良忠 揖斐川町商工会長
栗田 祐子 揖斐厚生病院看護部長
高橋 哲男 元揖斐郡教育研究所長

学 校 側 鈴木 英司 校長
赤坂 和之 教頭
成瀬 圭子 主幹兼事務長
大平 隆司 教諭 (教務主任)
河合 均 教諭 (生徒指導部長)
下野 正人 教諭 (進路指導部長)

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成27年6月12日(金) 13:20~15:00 揖斐高校 校長室
委員4人(栗田様が公務のためご欠席)と学校側6人が出席

5 会議の概要

(1) テーマ 揖斐高校の現状と今年度の取組について

学校側 1年生生活環境科の「フードデザイン」の授業を参観していただいた後、資料に沿って各分掌から現状と課題、今年度の取組等を説明した。

意見1 「フードデザイン」の授業を参観したが、体験的な授業で、みな熱心に取り組んでおり感心した。以前はバス停で、ケータイ・スマホなどに夢中になっている生徒を注意したこともあったが、最近は比較的良くなった。服装なども改善されており、地域の中で「揖斐高は良くなった」という声もよく聞く。OBの一人としてはスポーツを頑張って欲しいという思いがある。地域の人は揖斐高のことをよく見ている。

意見2 バス停などで品位のない姿が見られることもあるので、環境を整備するなど、なんらかの対策が必要かもしれない。地元の学校なので充実した教育を目指してほしい。何事も体験が必要で、そのことが生きる力につながる。地域との連携を密にすることも大切だ。学力はもちろん大切だが、コミュニケーション能力の育成が重要である。また、性教育も重要である。女性は「自分を大事にする性」、男性は「責任ある性」を自覚してほしい。

意見3 「薬物乱用防止講話」は、ライオンズクラブ主催のものもあるので、考えてみたらどうか。長年評議員をやっているが、最近の高校生は大人しくなったと感じる。その反面、ケータイ・スマホへの依存度が増していると思われる。本来は見本となるべき大人が自動車運転中に操作するなど、大人・社会の側にも問題あるようだ。自分の身は自分で守るという強い意志が必要である。コミュニケーション能力の必要性は、私も若者と接して痛感している。

意見4 授業参観したが、落ち着いた授業態度であった。私も「揖斐高は最近よくなった」と聞いていたが、今日の授業を参観してよくわかった。今後はさらに、伝統校である自信と誇りの持てる学校を目指して欲しい。先を見据えた教育がこれまでも実践されているが、今後もさらにその充実に努めて欲しい。最近の子供たちの変化を敏感に察知し、目に見えない部分の指導も忘れないでもらいたい。

6 会議のまとめ

本校が地域の方々にあたたかく見守っていただいていることを再確認できた。地域の中学校はもちろん、地域の方々にも本校の魅力をより具体的に発信していくことが必要だと感じた。

また、ご提言いただいた「性教育」「薬物乱用防止」「情報モラル教育」の充実については、関係機関とも連携し、ご助言を仰ぎながらより一層の充実を図っていきたい。